

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター設置 BD LSRFortessa 使用におけるルール

Rule for Use of BD LSRFortessa

2014年5月1日 作成
2016年3月28日 改訂
2019年10月15日 改訂
2020年12月23日 改訂

- 1) 利用希望の方は事前に専用管理システム「KUMaCo」からの利用登録および BD LSR Fortessa の「機器利用申請」をすませてください。
Please register to Medical Research Support Center and the equipment located in Drug Discovery Center via KUMaCo.
- 2) シース液は供給カート横に準備してある「FACS Sheath Solution」を使用してください。
Please use FACS Sheath Solution.
- 3) BD LSRFortessa で作成する生成する Experiment には必ずセンターから付与される PreFix と利用者のイニシャルを名前の最初につけてください。
Please put Prefix provided from MRSC.
Please ask to MRSC if you don't know or forget.

Example) 医学研究支援センター支援員が利用する場合 / When MRSC staff use:

プロトコール名 Protocol : KUMSUPYONS3count

Plate ID : KUMSUPYO20100414-1

KUMSUP = センターからの PreFix / Prefix provided from MRSC

YO = 利用者イニシャル / Initial of user

NS3count = プロトコール説明 (ここはご自由にどうぞ Please put as you like)

20100414-1 = 日付と通し番号(Date & running number)

- 4) すべての利用者をご自分の外部記憶装置をお持ちいただき、測定後すぐに自分のデータをバックアップし本体のデータを削除してください。本体に残すのはテンプレートとして使う Experiment のみとし、各研究室のフォルダ (名前はセンターから付与される PreFix にしてください) の下に所属の研究者/学生のフォルダを作成し、その下にテンプレート Experiment を配置するようにしてください。

センターでは定期的に状況をチェックし、容量不足の際には事前連絡なくデータを削除いたしますのであらかじめご了承ください。

Please back up your data immediately after use. You can keep only "template Experiment" on the operating PC, under your laboratory's folder.

5) USB 経由のコンピューターウイルス感染を防ぐため、データ保存・移動用の USB メモリ及びハードディスクのウイルスチェックは各自でこまめに行ってください。

You can use USB storage media to export your data, although you need to check computer-virus infection before and after use.

Thank you for your cooperation!

連絡先：京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター

ドラッグディスクカバリーセンター

吉田キャンパス 医学部基礎構内 総合解剖センター4 階（内線：16-4418）

URL: <http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter/>

Mail : info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp